

会社概要

社名 八洲開発株式会社
所在地 本社 熊本市東区月出1-1-52
 機材センター 菊池市旭志川辺1126-1
 熊本北工業団地内

設立 昭和34年
資本金 2,000万円
直近の業績 売上高 428,150千円 経常利益 74,520千円
 (平成31年3月) 自己資本比率 64.2%

従業員 28名
高卒者初任給 月給193,000円(諸手当を含む総支給額)
 年収見込額 265万円前後
 賞与年2回 昇給年1回

登録・許可 地質調査業 質29第81号
 建設コンサルタント 建29第8858号
 (地質部門)
 測量業 第(3)-31115号
 建設業 般特-29第2937号
 (土木一式、とび・土工・コンクリト、管、さく井)
 ISO 認証 ISO 9001:2015, 14001:2015



地球を調べるスペシャリスト
地質調査ボーリング技術者
未来の担い手大募集！

営業種目

■地質調査■

地質踏査
 物理探査
 ボーリング調査
 孔内試験・検層
 土質・岩石試験

■建設コンサルタント■

地質解析
 軟弱地盤解析
 地すべり解析
 地下水解析
 測量・斜面防災設計

■さく井工事/他■

井戸掘削工事
 温泉開発工事
 井戸メンテナンス
 地すべり対策工事
 グラウト工事

■文化財調査■

地下遺構探査
 発掘調査
 遺物の実測
¹⁴C年代測定
 理化学分析



その他の会社情報についてはホームページに詳しく
 ご紹介しております。是非ご覧下さい。

<http://www.yashima-geo.co.jp/>



地質調査ってどんな仕事？



<ボーリング調査>

地質調査は地質分布や地下水状況など、様々な地下の状況を調べるお仕事です。

地質調査の代表選手**ボーリング調査**では、機械で地面をくり抜いて地質サンプル（コア）を採取し、地質状況を調べます。コア採取で掘られた孔は、地質の特性や地下水の状況を調べる様々な試験・計測にも利用されます。その他、物理探査なども地質調査の仲間になります。



<簡易ボーリング>



<ポアホールカメラ観察>



<表面波探査>



<スウェーデン式サウンディング>



<孔内水平載荷試験(LLT)>



<地中レーダー探査>

地質調査の結果は、様々な建設物の設計・維持管理や地域の防災に役立っています。

道路や建物のように直接目に見える形を残すものではありませんが、全ての建設物の土台を担い、暮らしの安全を確実にするための大事な「縁の下の力持ち」業務です。

あると役に立つ資格

1 地質調査技士

地質調査に従事する技術者を対象とした検定試験。3～5年の実務経験が必要。

まずはこれ
地質調査の
王道

2 一級さく井技能士

水井戸・温泉井戸から石油まで、様々な井戸を掘る技術者を対象とする国家資格。5～7年の実務経験が必要。

専門分野
基本の資格

3 一級・二級土木施工管理技士

土木工事の主任・監理技術者になるには必須の国家資格。学科・実地試験がある。

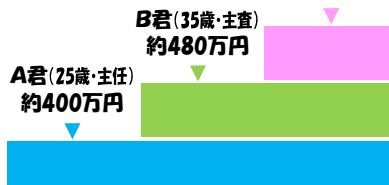
建設業定番
土木系資格の
王様

この他**測量士・測量士補・地すべり防止工事士**など色々な資格があります。当社では初回受験費用負担などの支援を始め、社内勉強会や現場教育を行って資格取得をサポートしています。

ボーリング技術者は、まず助手のお仕事から始まります。機長の下で作業をしながら現場管理や掘削方法などを勉強していきます。およそ3～5年くらいで助手から機長へレベルアップ。地質調査技士の資格を取得し、責任者として現場を任されるようになります。

ボーリング技術者のモデル年収

(平成30年度実績、給与十賞与)



八洲開発はこんな会社です



代表取締役社長
田北 廣

八洲開発は「**やしま かいほつ**」と読みます。「**日本**」を表す古称です。

多くの島からなる日本 大八洲国（おおやしまのくに）。ちょっと聞き慣れない言葉ですが、私たちの社名はこの日本の古称に因んでいます。八洲開発株式会社は「**日本開発株式会社**」。日本を住みやすくして、豊かな社会を作りたい。そんな先輩たちの思いが、この社名には込められています。

自前主義をモットーに、現場技術の伝承に力を入れています。

当社は地質調査の専門集団として、「現場技術で、自社で出来ない技術はない」と自信を持って言えるよう、さまざまな計測機器を自社で所有しています。最新の機材設備の導入も積極的に行っており、所有する機材設備や掘削機械の数・種類は九州トップクラスと自負しております。また、地質調査の基本は現場技術であると考えており、当社のボーリング技術者は掘削技術だけでなくポアホール計測まで幅広い技術を習得していただいています。

チームワークの良さも自慢のひとつです。

地質調査の現場は、基本的に2～3人規模のチームで動くことが多いです。少人数チームでは人間関係がとても重要になってきますが、当社の社員は全員仲が良く、そこから生まれるチームワークの良さも、仕事をテキパキとこなしていく秘訣となっています。中にはダムなどの大がかりな現場で大規模仮設をすることもありますが、全員一丸となったチームワークが光ります。

今年(令和元年)は創業60周年。これからも躍進し続けます。

当社は昭和34年に創業した、熊本県内の地質調査業者の中でも老舗の安定企業です。おかげさまで今年は創業60周年という節目の年を迎えました。これからも躍進し、100年まで継続する**100年企業**を目指して、社員一丸となって頑張っています。

◆ 会社の将来と業界の未来を背負って立つ若い力を歓迎します。 ◆

先輩社員の声



工務部 課長
高本 久義
年齢/44歳
入社26年目
菊池農業高校 卒業

どんな仕事をしていますか？

地面に機械で孔を掘って地層のサンプルを取り出す地質調査ボーリングを担当しています。一昨年から昨年では、熊本地震で被害を受けた地域で災害復旧のための仕事を多く行いました。現場では室内試験用のサンプリング試料を採取したり、調査孔を利用して精度の高い孔内試験等を行っています。

仕事の魅力はどんなところですか？

地質調査では、山間部や市街地の現場があります。山間部での作業では、季節ごとに違う自然の景色を体感できます。また、市街地での現場では調査後に建物などが建設されると達成感を感じます。地域の発展や熊本の復旧に貢献出来る事に魅力を感じています。



工務部 主任
山下 智生
年齢/24歳
入社6年目
熊本農業高校 卒業

仕事の魅力はどんなところですか？

ボーリング調査の一番の魅力は、個人の能力を十分に発揮できることです。調査は基本2人1組で作業を行い、現場での判断や時間の使い方はそれぞれのチームに任されています。単純労働とは違い、常に自分で考えて行動することが求められます。現場で行う作業ですが、1人の技術屋であって単なる作業員ではないところにやりがいがあります。

目標にしていることは何ですか？

仕事の目標は、先輩方と肩を並べられるような機長になることです。ここ数年は機長として現場を任せられることが多くなりました。しかし先輩機長と比べるとまだまだ技術も知識も不足していると感じています。日々考え、努力することにより技術も知識も身につけているので、将来的には先輩機長に追いつき、追い越すことを目指しています。